



# コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.88 2020年12月号

倉敷医療生活協同組合

コープリハビリテーション病院

〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60

TEL 086-444-3212

老人保健施設 老健あかね

TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



グループワークに参加の倉敷中央病院 医療ソーシャルワーカー 池上様 (中央)

週に1回水曜日にコープリハで研修させていただいている倉敷中央病院 救急科 田村 暢一朗です。先月10月14日にコープリハにて利用者さんの暮らしとQOLをテーマにした講習会を開催いたしました。みなさんQOLと聞いてどのようなことを考えられるでしょうか? Quality of lifeの略であり、「生活、暮らしの質」と翻訳されることが多いと思います。実はQOLは、日本だけでなく国際学会も催されているくらい学問体系が構築されています。

るものです。このQOLの中でQOLを構成している要素は大きく分けて次の3つと言われています。1つ目身体的要素、2つ目精神的要素、3つ目が社会的要素です。例えば脳梗塞を発生し片麻痺(半身不随)になってしまったケースを考えてみます。脳梗塞の影響で起きた片麻痺は身体的QOLを低下させます。それだけでなく、片麻痺になった結果、モチベーションが低下し、鬱っぽくなってしまった、これは脳梗塞が精神的QOLを低下させたものです。片麻痺になり、地域の集まりに参加しなくなった、これは脳梗塞が社会的QOLを



右から 当院の鍛本院長、飯塚医師、岡本看護部長、田辺医療福祉相談・連携室室長

低下させたものです。つまり、脳梗塞という病気は身体だけでなく、患者さん、利用者さんの暮らしを構成するものすべてに悪影響を及ぼすということがお分かりになると思います。今回の講習会では、実際の外傷症例からその患者さんの暮らしをアセスメント(評価)し、そこから今後の暮らしを再建していく上でどのような介入が必要かを考え、それを言語化した計画書作成までを参加者全員で行いました。具体的にはその患者さんの生活歴から「趣味の畑づくり」「孫と遊ぶのが楽しみ」「怪我の影響で車いすになった」といったキーワードを抜き出し、それが身体面、精神面、社会役



グループワークに参加の倉敷中央病院 医療福祉相談室室長 曾我様 (右から2人目)



講師の倉敷中央病院 救急科 田村医師 (左)



グループワーク後に各テーブルから発表の様子

割面のどの要素に該当するか?を考えた後、「屋外での畑づくりは難しいものの、鉢植えでミニトマトを栽培し、孫と一緒に収穫する」といった目標を設定しました。このようにリハビリテ



閉会挨拶 川村医師

シオンは身体的問題の改善だけでなく、それ以外の精神的、社会的な問題にも取り組む必要があります。こういったアプローチを行うことで患者さん利用者さんの満足度の高い暮らしを実現できるものと考えています。(もし身体的改善が難しかったとしてもほかの要素の介入で「満足度の高い暮らし」が実現できるケースもあると思います)このアプローチは医療者だけでは不可能です。患者さん利用者さんご本人、ご家族の協力やモチベーションが欠かせません。このように利用者さん、ご家族、医療者がタッグを組んで目標を持ちながら、リハビリを行うことが今後高齢化社会の中で重要視されていくのだと思います。

倉敷中央病院 救急科 田村 暢一朗



川崎医科大学附属病院リハビリテーション科の金丸医師もWebで参加

# リハビリを行う目的って? QOLについて考えてみましょう!

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

# 住み慣れた地域で

## イキイキと暮らすために

### 倉敷市が健幸アップ教室に期待する事

#### 【倉敷市からの来訪】

2020年10月17日(土)  
 倉敷市保健福祉局健康長 寿課地域包括ケア推進室の小野芳明主幹が当院に來られ、短期集中健幸アップ教室の見学と倉敷市における事業の考え方や期待する点などを説明して頂きました(写真1)。

#### 【健幸アップ教室の見学】

現在、教室は週1回の頻度で運動を主として構成し、栄養・口腔の講座も交えて6ヶ月間実施しています。倉敷市で運営をしている事業所は数箇所と限られています。そのため、実情を知りたいため、実情を知りたい。教室は、集団で実施できる体操、休憩中の利用者同士の交流、個別の課題に合わせた運動メニューの

実施という3部構成で実施しており、参加者の様子など興味深く見学されていました(写真2)。

#### 【増えない教室の実情】

倉敷市としては市内全域でこのような教室を運営して欲しいところですが、まだまだ途上の段階との事でした。特に対象者の選定は高齢者支援センターに頼り切っている面があり、要支援の方などの業務と兼務になっており、なかなか利用に繋がりにくい面があります。今後は健診データや介護データなどのビッグデータを活用した将来展望はあるものの、実用化には至っていないとの事でした。

#### 【地域への参加に繋がる事業とは】

現在は介護保険を申請し、



(写真1) 倉敷市保健福祉局 地域包括ケア推進室 主幹 小野芳明様



(写真2) 当院の総合事業を見学する小野主幹



図1 倉敷市ガイドブック

認定が出れば通所系や訪問系のサービスの利用に繋がる良い面もある一方で、地域への「参加」という面では悪い面もあるそうです。参加とは即ち、自らの役割や生きがいを見つけて、地域の方と交流することです。介護保険のサービス利用によって一時的な安全や安心の保障はあっても、その次に繋がるケースが少なく、結局家に閉じこもり、サービス利用以外は外に出ないというのは悩みの1つになっていきます。

【閉じこもりの方こそ教室の活用を】  
 本来は、倉敷市には数百の自主的に運営している様々な集まりの場(図1)があり、そうした場所に出掛けて地域の方々と交流して欲しい。しかし、現実には、「まだまだ元気でそんなものには参加せん」「老人扱いはされたくない」「人と会うのは億劫」と閉じこもりの一歩手前で外に出なくなる方が多く居られます。そのような方こそ健幸アップ教室

に通り、教室での交流を経て、地域の通いの場へ繋がって欲しいという期待をして居られました(写真3)。

【地域丸ごとリハビリの実践を】  
 今回は倉敷市が考えている予防事業のあり方や今後どのような展開が待っているかなど様々な情報や意見を聞くことができた貴重な機会となりました。我々の実践する「地域丸ごとリハビリ」にも密接に関係する内容であり、この機会を無駄にしないような事業を展開していきたいです。

コープリハビリテーション病院 リハビリテーション科 佐藤 雅昭



(写真3) 介護サービスの枠を越えた当院の地域貢献を小野氏の説明から描く当院参加者

診療表					老健あかね [086-446-6541]	
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212]					訪問リハビリ	通所リハビリ
外来	装具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健幸アップ教室		
診療時間	午前 9:00~12:30	14:30~15:00	午後 9:00~16:50	9:30~11:00	○	○
月					○	○
火	渡辺	(予約制)	(予約制)	○	○	○
水	川村			○	○	○
木	太田		(予約制)	○	○	○
金	飯塚			○	○	○
土					○	○

医療福祉相談・連携室		
相談受付時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日・祝日	休み

○お問い合わせ先  
 倉敷医療生活協同組合  
 コープリハビリテーション病院  
 老人保健施設 老健あかね  
 TEL 086-444-3212 (代表)  
 受付時間 平日 9:00~16:30  
 土曜日 9:00~12:00  
 (日祝・年末年始を除く)  
 〒712-8057  
 倉敷市水島東千鳥町 1-60  
 ホームページ: <http://coopreha.jp/>  
 メールアドレス: [info@coopreha.jp](mailto:info@coopreha.jp)  
 広報委員会  
 発行責任者 笹舘 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。